

山西大学奨学生最終報告書

吉村千陽

1、はじめに

私は埼玉県の奨学生派遣事業の奨学生として2017年9月から2018年7月までの約10ヶ月間、中国の山西省にある山西大学に語学留学をしていました。中国での生活の中でたくさんの素敵な出会いや、新しいことの発見や経験、忘れられない思い出がたくさんできました。このような機会を与えて頂いたことにとても感謝をしています。

2、留学前の準備（ビザ申請編）

留学前準備で1番時間と手間がかかるのがビザ申請でした。ビザ申請に必要な書類は大体7、8月ごろに埼玉県を通じて山西大学から送られてきて、それらの書類とパスポートとパスポートのコピー、証明写真をもって東京の虎ノ門にある中国査証センター（最寄り駅は日比谷線神谷町駅）へビザ申請に行きました。ビザを申請する際にビザ申請表を書かされるのですが、記入欄が多いのと、その場ではわからなくて書けない欄がいくつかあって、親と連絡を取り合いながら書いたりしたのでかなり時間がかかってしまいました。中国査証センターのHPから申請書をダウンロードができるので、事前にダウンロードコピーをして記入していくのがおすすめです。査証センターには証明写真機やコピー機があるので、証明写真を撮ってきていない人や、書類のコピーが済んでいない人もその場で用意することができます。HPに必要な書類が丁寧に記載されているので、申請に行く前に事前に確認してすべてそろえていくとスムーズに手続きがすすめられるので、事前準備をしっかり行うことをお勧めします。

3、留学前の準備（荷造り）

今までいろんな国に旅してきましたが、こんなにも長期間滞在するのが初めてだったので、何から手を付けていいのかわかりませんでした。以前山西大学に留学をしていた友人から山西の冬は恐ろしいと聞いていたので、ユニクロのダウンや上下のヒートテックを大量に持っていきました。1、2月に春休みがありその時に一時帰国する場合はその時に夏服をもってくればいいので、はじめは冬服のみでいいと思います。あと、私はコンタクトだったのでコンタクトを10か月分、化粧用品などを買いためてそれらは事前に段ボールに詰めて航空便で山西大学に送っておきました。山西にはあまり日本のもの（特に化粧品類）がないので、女性の方はいつも自分が使っている化粧品類は行く前に買いためをして持っていくのを勧めます。私は一時帰国するかどうかわからなかったので一年分の生活用品や衣類などをすべて持っていきまし

たが、中には現地で揃えられるもの、実際必要ではなかったものがあるのでそれらをいくつか紹介します。

- ・女性の生理用品 … 学校のスーパー、コンビニなどで簡単に手に入ります。日本でも売られているものもあり値段も日本と変わりませんでした。

- ・洗髪料 … 日本で売られているものが簡単に手に入ります。値段は少々高めですが、そんなに変わりはありません。日頃使っているものがある方は事前に行って買って持っていくのがいいと思います。自分はボトルと一つ詰め替えをもって行って半年ちょっともちました。

- ・語学本 … 日本で使っていた中国語の教材を何冊か持っていきましたが、ほとんど使いませんでした。学校から配布される教科書で十分でした。しかし学校から配布される教材は英語と中国語で説明が書かれているので本当にわからなかったときに役に立ったのが文法書です。やはり日本語で説明を見ると理解しやすいです。日本語で理解してから授業で先生から中国語で再度説明してもらったとより理解が深まります。あとは、HSKの単語帳はよく使っていました。

逆に持って行ってよかったものも紹介します。

- ・日本食 … 山西には日本のものがほとんどありません（最近日本食屋さんやスーパーに日本のお菓子が並ぶようになりました）。なのでインスタントの味噌汁などスープ系は必須です。夜勉強をしているときの小腹を満たすのに最適です。あとは、日本のお菓子も持っていくとほかの国の留学生たちがすごく喜んでくれます。特に日本のバームクーヘンとチョコレートが人気でした。

- ・文法書 … 上にも書きましたが文法書は必ず1冊は持っていったほうがいいです。やはり言語を勉強するときは、母語の説明のほうを理解しやすいと思います。

- ・掃除道具 … クイックルワイパーとウェーブを持って行きました。寮の床

にすぐに埃がたまってしまうて、部屋に置いてあるほうきだとただ埃が舞ってしまうだけなのでこの二つをととも重宝しました。

4、いざ中国へ

私は8月31日に日本を発ち、上海経由で夜に太原武宿空港に到着しました。空港の外に出るとよく映画で見るようなネオン街が広がっていました。山西大学の日本語が話せる先生が空港まで迎えに来てくれて一緒に学校まで行きました。以前までは山西大学の留学生は全員山西大学の教室と寮を使っていたのですが、今年度から留学生の人数が増加して教室と寮の空きがないということで、姉妹校の山西大学商務学院の教室と寮を借りることになったそうです。空港から商務学院は車で10分くらいの距離にありすぐに学校に到着しました。ちなみに商務学院と山西大学は最寄りのバス停から約30分ほどの距離にあります。寮に着いたのが夜の11時を過ぎていたので周りは静かで真っ暗でした。部屋に案内されて先生から布団類を渡され1人部屋に残されました。初めての中国での夜、VPNもまだ登録をしていなかったのもので誰とも連絡することができず、1人ぼっちでかなり心細かったのですが、長時間の飛行機移動で疲れていたのも荷物を開けることなくあっという間に眠りにつきました。

5、授業

クラスは全部で4つあります。初級A、初級B、中級、高級です。初級A班は中国語を勉強するのが初めての人たち用の班で、授業は英語で行われます。初級B班は今年からできたクラスで、授業はすべて中国語で行われ、A班よりも進度が早いです。初級班では中国語の基本的な文法をじっくり学習します。中級班と高級班は山西大学、大学院に通っている生徒がほとんどで初級班とのレベルの差がかなり大きいです。9月10日に全体のオリエンテーションがあり、そこで簡単な口頭でのクラス分けテストがありました。先生が一人一人に中国語が3文ほど書かれた紙を渡し、そこに書いてある文を読ませ発音などを聞いて中国語のレベルを確認して、クラス分けをしていました。しかし、中には先生からは初級班と言われたけど中級班にいきたいと申し出て中級班に行った留学生もいました。逆に中級班と先生に言われたのに、実際に授業を受けてみて難しいと感じて初級班にきた留学生もいました。クラスの移動は1年を通して自由でしたが、それぞれ教科書が違うのでクラスを変える場合は教科書もすべて買い替えなくてははいけないし、何か月か経つとクラスの雰囲気や先生との関係性も出来上がってくるので途中から入るのはなかなか気まずい気がしました。なので最初の1、2週間でいろんな班を試してみて、決断したら1年間はそのクラスにいることをお勧めします。先生も自分の性格や苦手なところなどわかってくれるので質問などがしやすくなります。

6、学校生活

山西大学は1年を通して授業以外にいろいろなイベントがたくさんありました。新入生歓迎会、クリスマスパーティー、詩の朗読大会、餃子パーティー、運動会、山西大学の学科ごとに戦うスポーツ大会（バスケットボール、サッカー、バレーボール）など、ほかにも演劇を見たり、式典に出たりなど留学生のための面白い行事が月に1回はありました。新入生歓迎会では留学生のみんなとダンスと歌を毎日放課後練習して大きなステージで披露しました。クリスマスパーティーでもそれぞれが得意なダンスや歌、演劇、詩の朗読、楽器の演奏など、準備をして披露しました。私はストリートダンスが趣味だったので、参加者を募ってHIPHOPを一緒に踊りました。みんな衣装やメイクを考えて当日素敵なお披露することができました。踊り終わってみんなから「ありがとう、楽しかった」と言われたときは、とても嬉しくなりました。後期の5月に山西大学で学科ごとに戦うバレーボール大会に留学生チームの一員として参加しました。国籍や言語、文化、年齢、性別、宗教など全く異なった留学生のチームでしたが、みんな優勝したい！と思う気持ちは同じで毎日一生懸命練習して、試合では決勝まで進むことができました。毎年留学生チームは初戦敗退だったみたいで、今年の決勝戦進出はなかなかの快挙だったみたいです。決勝戦では留学生の友達や国際科の先生たちがたくさん応援に来てくれました。結果は2位で悔しい気持ちはありましたが、外国で、外国の方々と一緒にチームで戦えたことが自分にとってはとてもいい思い出になりました。このように授業以外にも行事がたくさんあるので普段コミュニケーションをとる機会のない留学生達とも交流することができて、国籍、宗教、文化問わずたくさんの友達ことができました。

7、最後に

今回の留学で私はたくさんのおことを体験し経験し学びました。はじめは中国に来るのが怖くて、不安でいっぱいでしたが、実際に中国国内に入ってみると今まで持っていた中国のイメージがどんどん覆されていきました。日本の報道で中国と日本は不仲であるという印象がありましたが、たくさんの中国人の学生が日本語を勉強していて、日本の文化や伝統に対して尊敬をしてくれていました。街中でも私が日本人だとわかると、日本の製品をほめてくれたり、優しく声をかけてくださる方がたくさんいました。海外にきて日本が海外でこんなに評価してもらっていて、尊敬されていて、憧れられている国であることがわかり、自分が日本人であることに誇りを持ちました。語学力では、留学前は簡単なあいさつ程度しかわかりませんでしたが、留学が終わるころにはHSK 5級に合格することができました。特別なことは特にしていませんでした。ただ授業に出る、遅刻をしない、宿題をする、予習復習をするなど当たり前のことをしていただけです。あとは、積極的にイベントに参加して留学生と交流したり、大学

のサークルに入って中国人の友達をたくさん作って、中国語を使う機会を作りました。部屋ですっと机に向かって勉強をするだけではとても退屈です。山西大学に留学に行く方ぜひはたくさん外に出て生きた言語を学んでください。山西大学はいろんな機会を与えてくれる大学でした。



大学のダンスサークルのみんな



バレーボール大会の決勝戦



詩の朗読大会



クリスマスパーティー



山西大学の留学生達